

オミクロン株感染まん延を踏まえた対応について

○ 大規模な感染が発生しており、陽性率も高水準の中、療養決定されていない陽性者が多数発生。

○ 新規陽性者へのフォロー体制のさらなる重点化を図り、ハイリスク者への確実なフォローを実施。

◆現状1：1日あたりの新規感染者数が約1万人に迫るなど、過去に類をみない感染規模

◆現状2：陽性率が1週間平均でも25%を超過するなど、市中に感染がまん延している状況

◆現状3：自宅療養者数と同程度の療養決定のなされていない入院・療養等調整中の数が発生

フォロー体制のさらなる重点化

療養決定

○ファーストタッチの対象者を 40歳以上に重点化

・重症化リスクのない39歳以下は、まずは自宅療養を基本とし、必要な情報をSMSを活用して周知。

宿泊療養を希望する場合は自宅待機SOSに連絡。

・リスクがある方は発生届から保健所が療養方針を決定。

・リスクのある39歳以下で保健所から連絡がない場合は、まず保健所に連絡のうえ、繋がらなければ自宅待機SOS（電話:0570-055221）に連絡。

・1月31日から実施

調査関連

○発生届の 入力体制の 効率化・強化

・医療機関による
HER-SYS入力を促進。

・発生届のFAXによる
届出方法の効率化。

・1月31日から実施

濃厚接触者

○濃厚接触者特定・検査の 重点化

・濃厚接触の可能性のある者

（同居家族や学校・児童関連施設等）

で症状のない場合は、検査をせず、自主的に健康観察を実施し、自宅待機。

（児童関連施設は必要に応じて保健所に相談）

・症状がある場合は、診療・検査医療機関を
自主的に受診。

・1月31日から実施